コメの不足と価格高騰への対策を求める意見書

コメの不足と価格高騰が国民生活に深刻な影響を与えています。販売価格が昨年同時期の2倍にまで跳ね上がり、育ち盛りの子どもに「おかわりは我慢して」と言わざるを得ないなど、各家庭にコメが供給できない事態となっています。

この背景にあるのが、コメ農家が激減し生産基盤が急速に崩れていることです。これまで農家に減反・減産を押しつけてきたことで、コメの生産量はこの10年間で135万トン減少しました。加えて農家への所得補償を打ち切ったことが、農家減少という事態を引き起こしています。

政府は備蓄米の放出を続けていますが、今年5月以降の放出量は約61万トンで、国内の年間需要約700万トンの一部に過ぎません。5キロ2000円で販売されたとしても大多数の小売店には届かず、民間の流通米は高騰したままになることも懸念されます。

コメを巡る現在の危機を打開するためには、備蓄米の放出等の緊急対策と合わせ、生産基盤の強化が不可欠です。

よって、下記の事項を実施されるよう求めます。

記

1. 備蓄米を放出するとともに、各家庭や学校、医療・福祉施設への円滑な流通に責任を持つこと。原則1年以内の買い戻しを必要とする条件は緩和すること。
2. コメの生産量を増やし、価格保証や農家・生産者への所得補償等を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月20日

奈良県平群町議会議長 山田 仁樹

衆議院議長 額賀 福志郎 殿

参議院議長 関口 昌一 殿

内閣総理大臣 石破 茂 殿

農林水産大臣 小泉 進次郎 殿